

# 9月の安全運転のポイント 平成20年9月号

交通事故を起こさないためには、車を安全にコントロールするとともに自分の心もコントロールすることが大きなポイントになります。知らず知らずのうちに、危険な運転操作・運転態度を繰り返していると、思わぬ事故を招くことにつながります。今回は、自分の運転を振り返るためのチェックポイントをあげますので、自分の運転を振り返りチェックしてみてください。

## Check1 交通ルールを軽視していませんか

「違反で捕まるのは運が悪いからだ」とか「違反をしても事故さえ起こさなければいい」と考えていませんか。このようなルール軽視の運転は、たとえ自分が事故を起こさなかったとしても、交通の円滑な流れを阻害し、他車の事故を誘発しているかもしれません。どんなスポーツやゲームもルールなしには成立しません。車の運転も、ルールを守ってこそ安全で快適になるのです。



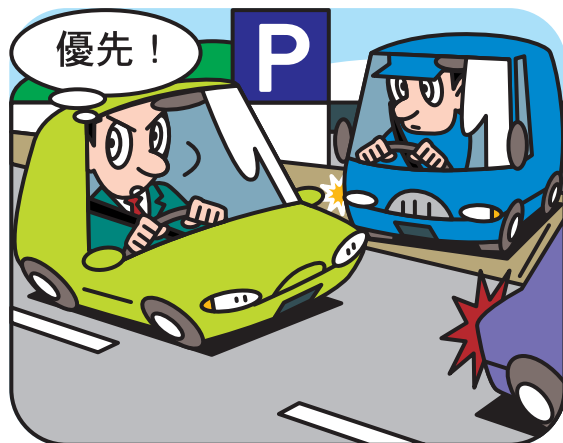
## Check2 運転にスリルを求めていますか

運転にスリルを求めて「スピードを落とさずにカーブに進入する」ような危険な行為をしていませんか。このような運転は、ひとつ間違えれば重大な事故につながります。「スリルを求めて事故を起こし、命をなくしたら何にもならない」と考えて、スリルよりも安全を優先しましょう。



## Check3 優先意識が強すぎませんか

「自分のほうが優先であれば、相手に譲る必要はない、相手が止まるべきだ」と考えていませんか。状況によっては優先であっても相手に譲ることが大切な場面もあります。例えば対向車線が右折待ちの車のためにその後ろが渋滞している場合、自車が停止して相手を右折させてあげれば渋滞は解消します。また、優先意識が強過ぎると、「相手が止まるべきだ」が「相手は止まるはずだ」という思い込みにつながるおそれがあります。自分が優先であっても「状況に応じて相手に譲る」、「相手は止まらないかもしれないと考える」ことが事故を未然に防ぐことにもつながります。



## Check4 運転操作が優れていれば事故は起こさないと考えていませんか

運転操作が優れていることは、事故を起こさないための重要な条件の一つですが、それだけでは安全な運転はできません。交通統計(財団法人交通事故総合分析センター・平成19年版)によると、「運転操作不適」による人身事故は全体の6.7%で、事故の大半はそれ以外のことで発生しています。事故を起こさないためには、運転操作に優れるだけでなく、運転態度や意識も向上させましょう。



## Check5 他車との競争意識を持っていませんか

「他車より速く発進したり加速する」、「追い越されたら追い越し返す」といった運転をしていませんか。他車との競争意識が強いと、危険な運転をしがちです。また、対象となる他車にだけ注意が向き、それ以外のことが目に入らなくなり危険を見落とすおそれもあります。道路は、レース場のような「競争する」場所ではなく、「協調する」場所であることを忘れないようにしましょう。



## Check6 ちょっとしたことでカッとなったりイライラしていませんか

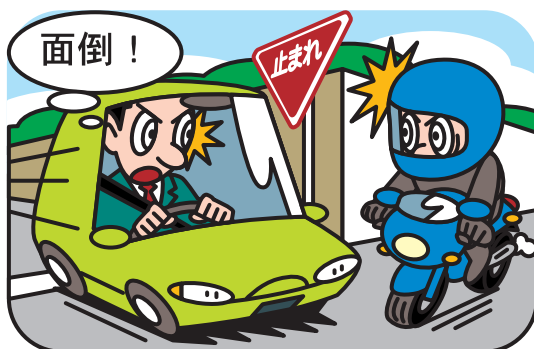
「他車に割り込まれてカッとした」、「なかなか右折できないでイライラした」ということはありませんか。運転中にカッとしたりイライラすると、運転が荒っぽくなるだけでなく、的確な認知や判断もできなくなるおそれがあります。「カッとしたりイライラしても自分が損をするだけだ」と考えて、常に平静さを保つようにしましょう。



## Check7 いちいち停止するのはムダだと考えていませんか

一時停止の標識のある場所にさしかかったとき、「停止するのは面倒だ」「何も出てこないんだから停止するだけムダだ」などと考えるはいませんか。一時停止・確認は決してムダなことではなく必要なことなのです。

一時停止の目的は、安全確認をすることにあります。つまり、「しっかり止まって、はっきり確認」することが重要なのです。



「ご相談・お申込先」